

追加型投信 / 海外 / 債券

三菱UFJ 欧州ハイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

【愛称:ユーロスター・プレミアム】

2016年1月の運用経過と今後の見通し

ファンド情報提供資料 / データ基準日2016年1月29日

平素は「三菱UFJ 欧州ハイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年に入り、世界の金融市場では株式市場が大きく下落する等、市場の変動が大きくなっており、当ファンドの基準価額も影響を受けています。つきましては、2016年1月の運用経過と今後の見通しについてご案内させていただきます。

2016年1月の投資環境

2016年1月の欧州ハイールド債券市況は下落しました。中国景気に対する懸念の高まりや原油価格の下落等から投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州ハイールド債券市況は下落しました。月の後半では、原油価格に下げ止まり感が出てきたことやECB(欧州中央銀行)が金融緩和策を強化する可能性を示唆したこと等を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、欧州ハイールド債券市況が上昇する局面が見られましたが、月を通じて見ると、欧州ハイールド債券市況は下落しました。

ユーロ(対円)については1月の前半は、中国景気に対する懸念の高まりや資源価格の下落等から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、安全資産とされる円の需要が高まり、ユーロは対円で下落しました。月の後半は、原油価格に下げ止まり感が出てきたことやECBが金融緩和策を強化する可能性を示唆したこと等を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、ユーロは対円で上昇しました。月を通じて見ると、ユーロは対円で下落しました。

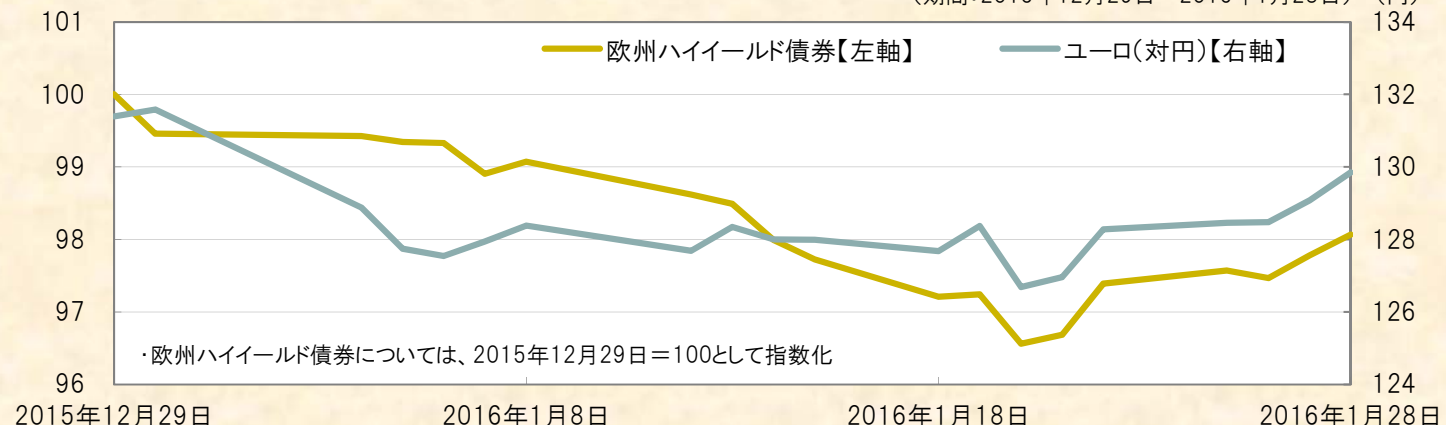
(出所)UBS社のコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

当ファンドの基準価額(分配金再投資)とユーロ(対円)・欧州ハイールド債券の推移

(期間:2015年12月30日~2016年1月29日)



(期間:2015年12月29日~2016年1月28日) (円)



(出所)BofAメリルリンチ社のデータより三菱UFJ国際投信

・基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ・ファンドについては2015年12月30日~2016年1月29日、欧州ハイールド債券・ユーロ(対円)はファンドの基準価額算出基準に合わせて2015年12月29日~2016年1月28日の値を掲載しています。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通しなしい分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 上記は指数を使用しています。指数については【当資料で使用した指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

2016年1月の運用経過と基準価額の変動要因

当ファンドは、外国投資信託への投資を通じて、欧州ハイイールド債券を高位に組み入れることに加え、円に対するユーロのコール・オプション売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する通貨カバード・コール戦略を活用した運用を行いました。

当ファンドが投資する外国投資信託の欧州ハイイールド債券運用では、国別配分において、イタリアなどの欧州周辺国銘柄の組み入れを市場対比少なめとしました。業種別配分においては、素材、自動車、通信などの組入比率を市場対比少なめとする一方、銀行、保険、金融サービスなどの組入比率を市場対比多めとしました。格付別では、引き続きBB格の組み入れを市場対比少なめとする一方、B格やBBB格の組み入れを市場対比多めとしました。

上記のような運用を行った結果、オプション・プレミアムや利子収入を享受したこと等がプラスとなったものの、欧州ハイイールド債券市況が下落したことやユーロが対円で下落したこと等がマイナスとなり、当ファンドの基準価額は下落しました。

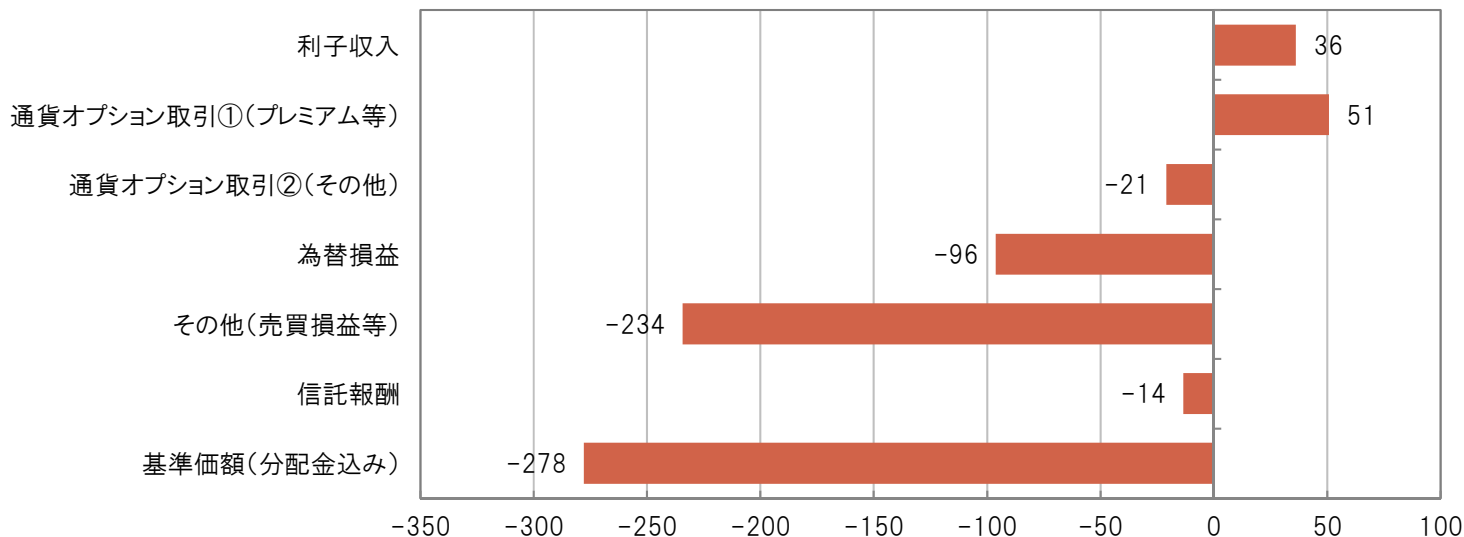
(出所)UBS社のコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

毎月分配型 (2016年1月29日現在)

(円)



- ・通貨オプション取引のうち、①は、オプション・プレミアム収入を簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。②は、権利行使に伴う損失を簡便的に算出したものであり実際の値とは異なります。
- ・為替損益は当該ファンドに係る為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、通貨オプション取引部分①、②、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

※ユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンドの運用会社であるUBS社の資料(現地月末前営業日基準)に基づき作成したものです。

当ファンドが投資しているユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンドの運用状況

ポートフォリオの利回り・デュレーションについて

2016年1月末時点でのポートフォリオの利回り・デュレーションは下記のようになっています。

利回り・デュレーション (2016年1月29日現在)

	当月末	前月末	増減
最終利回り	5.96%	5.33%	0.63%
直接利回り	5.64%	5.67%	-0.03%
デュレーション	3.58年	3.62年	-0.04年

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

カバードコール戦略について

当ファンドは、通貨カバード・コール戦略により、円安・ユーロ高による為替差益の一部を放棄する一方、オプション・プレミアムの獲得をめざして運用しております。足下では、為替の変動率が高まっており、目標とするオプション・プレミアムの獲得が十分にできる水準となっています。今後とも、目標とするオプション・プレミアムの獲得をめざし、適切な運用を行ってまいります。

(出所)UBS社のコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

ポートフォリオ特性値(2016年1月29日現在)

	当月末	前月末
オプション・プレミアム	8.20%	8.11%
カバー率	95.45%	95.54%
平均権利行使価格(月末ベース)	99.75%	101.69%
平均権利行使価格(約定ベース)	100.86%	100.61%
平均権利行使期間	14日	16日

- ・データはUBS社の資料に基づき作成したものです。
- ・オプション・プレミアムは月末の純資産総額に対する年率調整後のプレミアム収入です(約定ベース)。
- ・カバー率は、組入外貨建資産に対するオプションのポジションです(月末ベース)。
- ・平均権利行使価格のうち、「月末ベース」は原資産価格(通貨)に対する当月末時点の為替水準に対する権利行使価格の水準、「約定ベース」は原資産価格(通貨)に対するオプション取引時点の為替水準に対する権利行使価格の水準です。なお、「月末ベース」と「約定ベース」は主に為替変動の影響により異なる値となります。
- ・平均権利行使期間は当月末からオプション権利行使日までの平均日数です。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通しのない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

足下の投資環境、今後の見通しと運用方針

欧州経済が緩やかな回復基調にあることに加えて、ECB(欧州中央銀行)による金融緩和策の継続は、欧州ハイイールド債券投資に対して中長期的にプラスになると考えています。足下で、欧州ハイイールド債券のデフォルト率は、中国景気の減速や原油価格の下落等を背景に上昇しましたが、銀行貸出動向アンケート調査によれば、銀行の貸出基準が依然として緩和的な水準であることから、今後も相対的に低水準で安定的に推移すると予想されています。

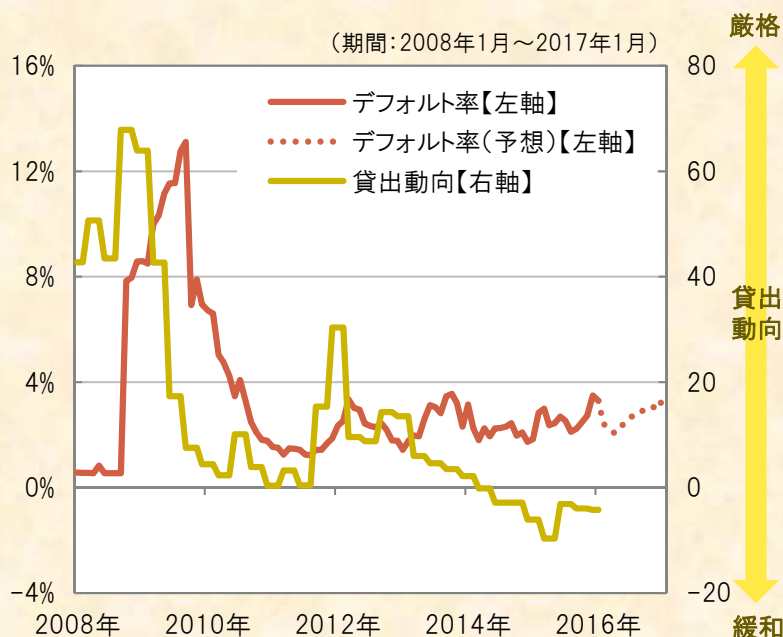
足下では、ECBによるマイナス金利の継続によって欧州銀行の収益が圧迫されているにも関わらず、融資状態は相対的に良好であるとみられ、欧州企業にとってプラスとなると考えられます。このような状況の中、欧州企業の収益の拡大は2016年以降も続くと考えられています。

一方で、新興国経済の不調による欧州輸出企業の業績への影響等には引き続き注視が必要であると考えます。

上記のような環境の下、新興国経済の動向等に留意しながら保守的な運用を継続しています。

(出所)UBS社のコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

欧州ハイイールド債券のデフォルト率と貸出動向*の推移

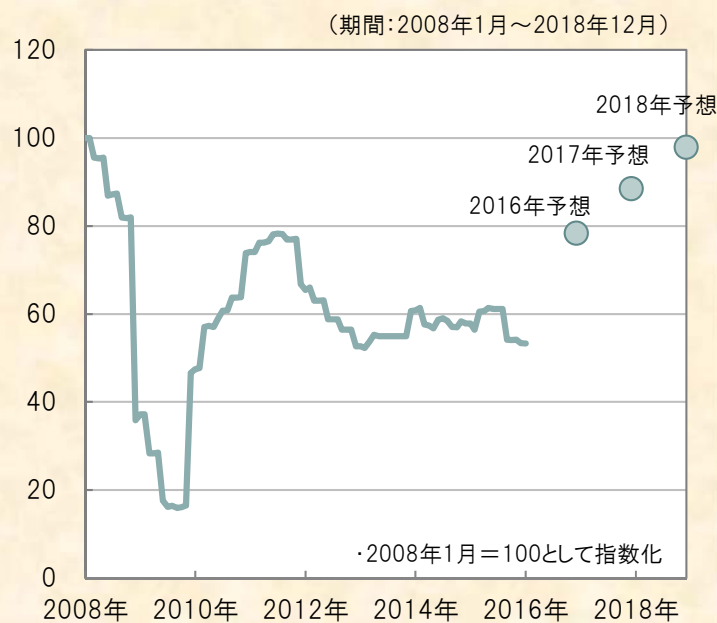


・2016年2月以降はMoody's予想

※貸出動向とは、欧州域内各金融機関の担当者に対して行う「銀行貸出動向アンケート調査」によるもので、各金融機関の企業に対する貸出態度が前回より厳格化したのか緩和したのか示しています。

(出所)Moody'sのデータより三菱UFJ国際投信作成

欧州企業のEPS(1株当たり利益)の推移



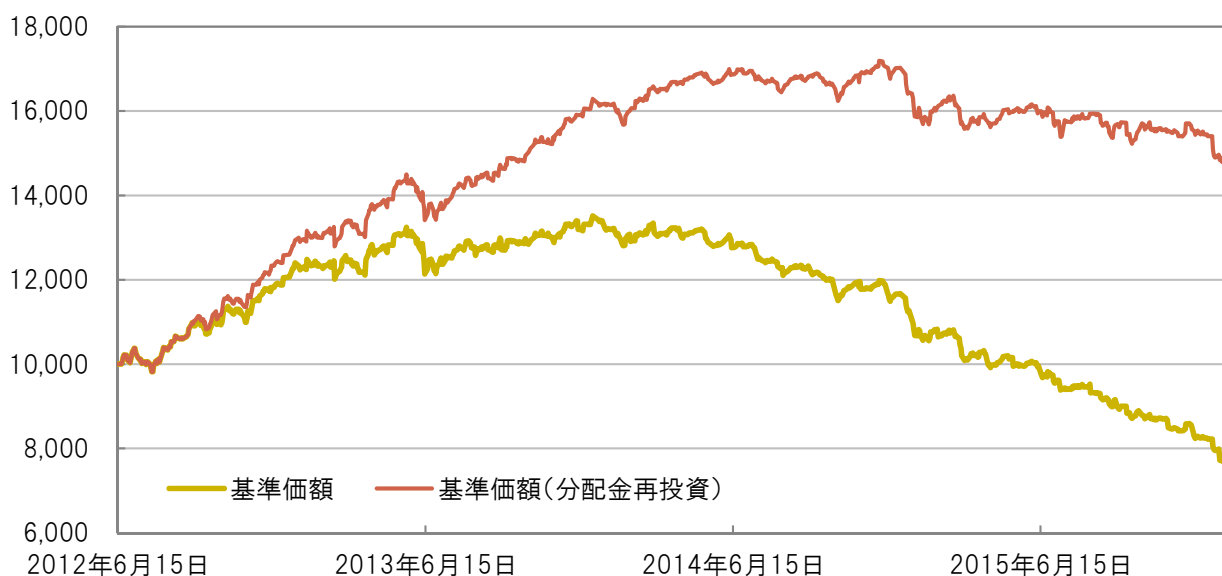
・2016年以降は各年の12月のデータでブルームバーグ予想

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

■上記は過去の実績・状況です。本見通し・分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■上記は指数を使用しています。指数については【当資料で使用した指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

【ご参考】当ファンドの基準価額の推移 (2012年6月15日～2016年1月29日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

通貨カバードコール戦略とは

ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却する戦略です。一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。一方、ユーロ安円高が進んだ場合には、為替差損が発生することになります。くわしくは、下の図をご覧ください。

オプション満期時におけるコール・オプションの売却による効果(ファンドのケース、為替部分のイメージ)

満期時の為替水準	「ユーロ建てハイイールド債券」の為替損益	円に対するユーロの「コール・オプションの売却」による損益	
ケース① 取引時点より円安・ユーロ高となり権利行使価格を上回った場合	為替差益 (円安相当分)*1	プレミアム収入	権利行使に伴う損失*2
ケース② 取引時点より円安・ユーロ高となったものの権利行使価格未満の水準にとどまった場合	為替差益 (円安相当分)	プレミアム収入	—
ケース③ 取引時点より円高・ユーロ安となった場合	為替差損 (円高相当分)*3	プレミアム収入	—

*1「ユーロ建てハイイールド債券」の運用自体においては為替差益が期待されるものの、コール・オプションの売却を組み合わせることで上値が限定されます(権利行使に対応した支払いが生じます)。

*2、*3 プレミアム収入を上回る損失が発生する可能性もあります。

・ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。

・上記は通貨カバード・コール戦略の全てを説明したものではなく、場合により該当しないことがあります。

・ファンドの損益は、上記戦略による損益に加えて、原資産である債券の価格変動や利子収入等の影響を受けます。

・ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で随時行います。そのため、個別のお客さまの損益は上記イメージと異なる場合があります。

・上記はイメージ図であり、実際の為替変動および投資損益を示唆するものではありません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

通貨カバード・コール戦略における「為替水準」の変化と「基準価額(為替による影響部分)」の関係

通貨カバード・コール戦略では、コール・オプションが満期(下表の例では1ヵ月後)を迎えた場合、そのコール・オプションは清算されて消滅し、新たなコール・オプションを売却することになりますが、為替が短期的に大きく上昇・下落してコール・オプションが満期を迎え、その後為替が元の水準に戻った場合でも、基準価額が元の水準を下回る可能性があります。

為替水準の変動によって基準価額(為替による影響部分)が影響を受けるケース(イメージ)

◎下記イメージは、ユーロ建てハイイールド債券のパフォーマンス、インカム収入等は考慮していません。

		緩やかな変動のケース (「105円 → 104円 → 105円」 (当初) (1ヵ月後) (2ヵ月後) と推移した場合)			急激な変動のケース (「105円 → 100円 → 105円」 (当初) (1ヵ月後) (2ヵ月後) と推移した場合)		
オプション 売却時の 前提条件	時期	当初	1ヵ月後	/	当初	1ヵ月後	/
	為替レート	105円	104円		105円	100円	
	行使価格	107円	106円		107円	102円	
	プレミアム	0.7円	0.7円	0.7円	0.7円		
オプション 満期時の 状況・損益	時期	1ヵ月後	2ヵ月後	2ヵ月累計	1ヵ月後	2ヵ月後	2ヵ月累計
	為替レート	104円	105円		100円	105円	
	為替相場の状況	ユーロ下落 (円高)	ユーロ上昇 (円安)	変わらず	ユーロ下落 (円高)	ユーロ上昇 (円安)	変わらず
	債券部分の 為替差損益	-1円	1円	0円	-5円	5円	0円
	オプション・ プレミアム	0.7円	0.7円	1.4円	0.7円	0.7円	1.4円
	オプション被行使 による損失	—	—	—	—	-3円	-3円
損益合計		-0.3円	1.7円	1.4円	-4.3円	2.7円	-1.6円

オプション・プレミアムによる
収益獲得

オプション・プレミアムでカバーできず、
損失が発生

実際の運用においては、当該ケースのような極端なカイ離が発生するリスクを抑制するために、コール・オプションの満期日や権利行使価格を分散して投資する等の対応を行います。

※シミュレーションに関する留意事項

上記は通貨カバード・コール戦略による損益をイメージしていただくために下記の仮定に基づき算出したシミュレーションです。

実際の運用におきまして、プレミアム・行使価格は為替相場の変動に伴い大きく変化することにご留意ください。

・プレミアム: 為替レートに対し、ターゲットの年率8%の1ヵ月分

・行使価格: コールオプション売却時の為替レートに対し2円高い価格で売却

・ファンドの損益は、上記戦略による損益に加えて、原資産である債券等の価格変動や利子収入等の影響を受けます。

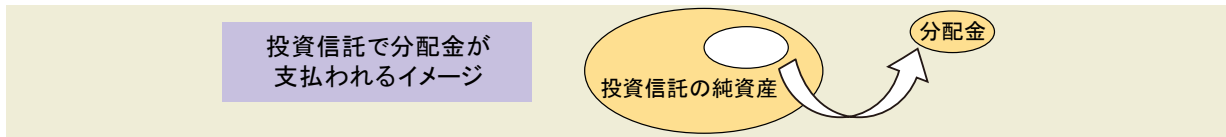
・ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で行うことがあります。

そのため、個別のお客さまの損益は上記イメージと異なる場合があります。

・上記はイメージ図であり、実際の為替変動および投資損益を示唆するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

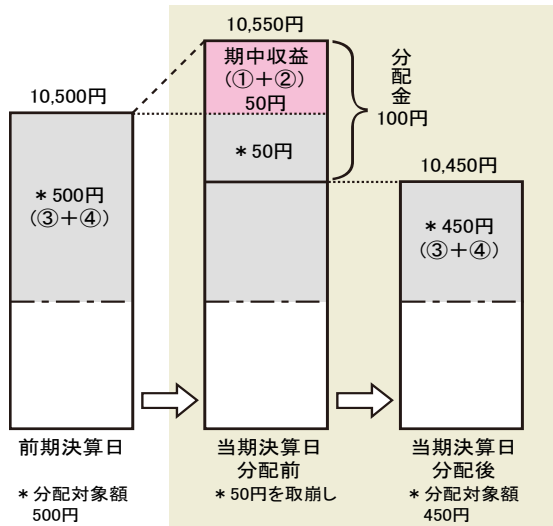


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

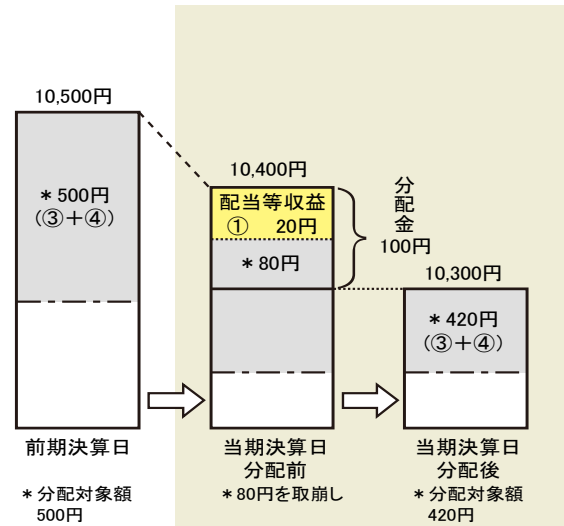
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



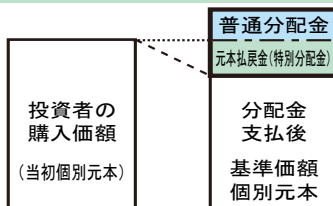
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

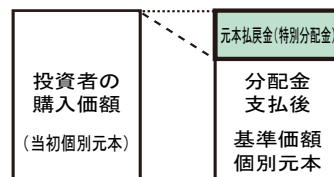
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。



三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

(投資対象)

- ・主として円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスの投資信託証券への投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を実質的に行います。これにより、一定以上の為替差益を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・コール・オプションの売却に伴い、オプション・プレミアム収入を獲得する一方、権利行使に伴う損失が発生する場合があります。

(ハイイールド債券とは)

- ・ファンドが投資対象とするハイイールド債券とは、格付会社(スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。一般的にハイイールド債券は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。つまり、ハイイールド債券は、主として社債を中心とした低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。

(コール・オプションとは)

- ・コール・オプションとは、株式や通貨などを将来の特定の期日に、合意に基づいて定められた価格(権利行使価格)で買う権利のことです。この権利を売却することで売り手は代金(オプション・プレミアム)を得ますが、同時に満期日において権利行使に応じる義務を負います。当該コール・オプションの満期日において権利の買い手が権利を行使することで、売り手にとって損失が発生する可能性があります。このように、取引における最終的な損益は、オプション・プレミアム収入に、権利行使に伴う損失を加味して考える必要があります。ファンドが売却したコール・オプションは時価で評価され、満期日までの当該時価の変動が基準価額に影響します。そのため、コール・オプションの売却時点で、基準価額がオプション・プレミアム収入相当分上昇するものではありません(なお、コール・オプションの売却は円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスが行います)。

(通貨カバード・コール戦略とは)

- ・ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却する戦略です。一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。ファンドの損益は、通貨カバード・コール戦略による損益に加えて、原資産である債券の価格変動や利子収入等の影響を受けます。ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で随時行います。

(為替対応方針)

- ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。

(運用方法)

- ・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

(運用の委託先)

- ・三菱UFJ国際投信は、投資信託証券への運用の指図に関する権限をUBSアセット・マネジメント株式会社に委託します。

(分配方針)

- ・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。
- ・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】**投資リスク****■基準価額の変動要因**

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。また、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行うため、円安・ユーロ高や対円でのユーロの価格変動率が上昇すること等によるコール・オプションの価格の上昇は、基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「通貨カバード・コール戦略について」

ファンドは実質的にユーロ建ての債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行います。これにより、円安・ユーロ高による為替差益の一部または全部がオプション取引に伴う損失によって相殺される場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・オプション取引の満期日をまたいで円に対するユーロの価格が大きく変動した際には、その後当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。

・円に対するユーロの価格が大きく下落する中でファンドへ大量の資金流入が発生した際には、その後円に対するユーロの価格が当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行の休業日 2016年の該当日は1月18日、2月15日、3月25日、3月28日、5月2日、5月30日、7月4日、8月29日、9月5日、11月11日、11月24日、12月26日、12月27日です。なお、休業日は変更される場合があります。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2021年7月13日まで(2012年6月15日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 くわしくは販売会社にお問合わせください。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称:ユーロスター・プレミアム】
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜 3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド: 日々の純資産総額に対して、年率1.1988%(税抜 年率1.11%)をかけた額 投資対象とする投資信託証券: 投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.83%(運用および管理等にかかる費用) (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。) 実質的な負担: 当該ファンドの純資産総額に対して 年率2.0288%程度(税抜 年率1.94%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.24%(税込)の例～
例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.24%=32,400円となり、合計1,032,400円をお支払いいただくこととなります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドにおける2016年1月の運用経過と今後の見通しをお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

<お客様専用フリーダイヤル> **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>

販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

商号	登録番号等	加入協会
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第43号	日本証券業協会
第四証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	日本証券業協会
株式会社 千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	日本証券業協会
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
UBS証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2633号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

【当資料で使用した指数について】

■ 欧州ハイイールド債券: BofAメリルリンチ 欧州ハイイールド コンストレインド インデックス

BofAメリルリンチ 欧州ハイイールド コンストレインド インデックスとは、BofAメリルリンチ社が算出する、ユーロ債券市場もしくはユーロ圏の国内で発行されたユーロ建てのハイイールド社債の値動きを表す指数です。

■ 欧州企業: MSCI ヨーロッパ インデックス

MSCI ヨーロッパ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、ヨーロッパの先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。